

茨城労働局発表

平成23年4月12日

担当課

茨城労働局労働基準部

健康安全課長 橋本 篤弘

同課長補佐 中島 英明

Tel 029-224-6215

復旧・復興工事で死亡災害を含む重傷災害10件発生

～復旧・復興工事の労働災害防止の徹底を呼びかけ～

茨城労働局（局長 鬼丸良一）は、今般、県内各労働基準監督署で把握している震災後の復旧工事等で発生した休業4日以上災害をとりまとめたところ、死亡1名を含めて、すでに10件発生していることが判明しました。（概要 別添のとおり）

10件中5件は、破損した屋根のシートがけ等の応急修理に際に、屋根等から墜落して発生しています。

4月4日には、つくば市内において、被災した屋根瓦の撤去作業後ブルーシートで養生を行っていた73歳の作業員が屋根端部（地上約6メートル）から墜落し死亡するという災害が発生しました。

このような屋根瓦等の修繕作業においては、工事が緊急で小規模であることもあって、足場等の設置が間に合わずに、なんらの墜落防止措置が講じられないまま作業が開始されるという状況が見られます。

余震が続く中であって、今後、墜落防止措置が講じられないまま、修繕工事が本格化した場合、墜落災害等の多発が懸念されます。

茨城労働局では、別添リーフレットを作成し、修繕工事等に係わる足場等の墜落防止設備設置と、これらの設置が困難な場合でも、安全带やヘルメットの着用の徹底を行うようパトロール等を通じて関係事業者に呼びかけています。

別添

東日本大震災の復旧工事に係わる労働災害発生状況

平成23年4月8日現在 茨城労働局

	災害発生日	災害発生時間	死亡/ 休業	休業見 込期間	性別	業種	事故の型	起因物	傷病性質	傷病部位
1	平成23年3月12日	9時50分	休業	2ヶ月	男性	その他の土木工事業	飛来、落下	石、砂、砂利	骨折	指
2	平成23年3月13日	14時30分	休業	20日	男性	その他の食料品製造業	激突され	その他の仮設物、建築物、構築物等	骨折	胸部
3	平成23年3月13日	12時12分	休業	3ヶ月	男性	木造家屋建築工事業	墜落、転落	屋根、はり、もや、けた、合掌	骨折	骨盤部
4	平成23年3月15日	13時50分	休業	1ヶ月	男性	木造家屋建築工事業	墜落、転落	屋根、はり、もや、けた、合掌	骨折	足
5	平成23年3月17日	17時30分	休業	4ヶ月	男性	建築設備工事業	墜落、転落	屋根、はり、もや、けた、合掌	骨折	足
6	平成23年3月18日	15時00分	休業	1週	男性	その他の建築工事業	転倒	屋根、はり、もや、けた、合掌	打撲傷	ひざ
7	平成23年3月22日	9時30分	休業	30日	男性	農業	飛来、落下	その他の材料	骨折	足
8	平成23年3月23日	10時52分	休業	14日	男性	その他の教育研究業	墜落、転落	階段、さん橋	骨折	肩
9	平成23年4月1日	9時05分	休業	1ヶ月	男性	その他の建築工事業	墜落、転落	はしご等	骨折	頭部、胴体
10	平成23年4月4日	14時00分	死亡	死亡	男性	木造家屋建築工事業	墜落、転落	屋根、はり、もや、けた、合掌	頭部挫傷	頭部



震災の復旧・復興作業を行われる皆様へ

一日でも早い復旧・復興が願われます

震災による災害復旧・復興工事ご苦労様です。

十分ご承知かとは思いますが・・・

災害復旧・復興工事は、損傷を受けた建物の補修や、停止した設備の立ち上げなど、通常の業務とは異なる危険を伴います。

過去の震災でも、災害復旧・復興工事などに従事した労働者が多数死傷しています。

皆様のご尽力にかかっています

震災復旧・復興工事に伴って労働災害が発生した場合、被災労働者や遺族の無念はもとより、災害復旧・復興工事そのものにも大きな影響を与えることになりかねません。

事業主の皆様は、このような趣旨をご理解いただいて、安全な作業が行われるようご留意願います。

特に注意を必要とする作業を列挙します。

安全帯・ヘルメットを着用してください

屋根補修・修繕工事などで高所作業が頻発します。余震の恐れもまだありますので、墜落や転落の危険が生じます。

手すりなどの有効な墜落防止措置が講じられない場合でも、安全帯を使用したり、ヘルメットの着用でも重篤な災害を防止する効果があります。

(ヘルメットは墜落時保護用をご使用下さい。)



屋根工事は周囲に配慮をお願いします

屋根補修・修繕工事においては、壊れた瓦など物が落下する危険があります。

屋根の下で作業する方の安全の確保はもちろんですが、近隣住民の方などの安全にも配慮をおねがいします。(関係者以外は作業範囲に立入らせないでください)



重機との接触にご注意ください

解体作業や土木作業では重機類が活躍します。復旧現場では作業が錯綜しますので、重機のバケットや旋回体との接触による災害が発生するおそれがあります。重機の可動範囲内への立入禁止や誘導員を置くなど十分な措置が必要です。

再崩落にご注意ください

土砂崩壊現場の修復工事や崩壊家屋・ブロック塀の解体工事などでは、再崩落等の危険があります。現場の状況を良く確認し、崩壊の危険に十分注意してください。

爆発・感電・不意の機械稼働にご注意ください

工場等の操業を復旧する場合は、非定常作業が多数発生します。過去には、爆発や感電、不意の機械稼働による災害などの発生が見られます。事前に十分な危険予測をお願いします。

防じんマスクの着用をお願いします

復旧工事等では、石綿を始めとして粉じん[※]に暴露する恐れのある作業が予想されます。適切な発じん防止や封じ込め対策と併せて、防じんマスクの着用が有効です。



ご安全に

茨城労働局・労働基準監督署